



仙人の 神田うんちく 路地裏ぶらぶら

MAP No. は、
中面の「おさんぽ路地裏
MAP」に対応しています。

MAP No.



九段坂

昔は急な勾配の坂でしたが、関東大震災後にゆるやかな坂に改造されました。九段下の九段会館一带は江戸幕府の洋学の研究所「番書調所」がありました。

九段下交差点の左角に創業明治14年(1881)の老舗の飴屋さんがあります。ニッキ飴が有名ですよ。

MAP No.



俎橋(まないたばし)

靖国通りの九段下交差点を超えると首都高5号線が見えます。ここが神保町との境です。こんなに近い神保町にぜひお寄りください。『俎橋』、この文字を読める方は神保町の“通”ですよ。日本橋川に架かる橋で、江戸時代から伝わる名前で、当初は料理で使う「まないた」の形の簡単な橋だったようです。橋の袂に公園があり、寿老人の銅像があります。次のハレー彗星接近(2061年)に開けることになっている、タイムカプセルなのです。

MAP No.



九段下ビル

俎橋を渡ると左側に3階建ての長家が見えてきます。昭和2年に建設された洋風でモダンな建物だったと思われます。窓の造りや屋上の飾りはヨーロッパのお城を思わせる雰囲気です。今は外壁が接がれ落ちるので、アミがかけられています。

MAP No.



大和屋履物店

専修大学交差点の手前に「あらまあ！こんな所に！」と、明治17年創業の下駄屋さんがあります。和物小物が所狭しと並んでいます。外国人のお客さんも多いそうです。

神田生まれの神田育ちの3代目のご主人が、娘さんがデザインして染めた鼻緒をその場ですげてください。

MAP No.



神保町交差点から

ここまで散策した街は江戸時代旗本の屋敷が立ち並んでいたところ。交差点を渡り神保町一丁目は駿河台下につながっていて、江戸時代大名屋敷が連なっていた場所です。ここまでやっと辿り着きました。真に江戸のど真ん中を歩いて来ました。因に神保町2丁目のさくら通りに神保長春という旗本が住んでいたのが、神保町の名前のいわれとなっています。

MAP No.



お茶の水(旧錦華)小学校

三省堂「自遊時間」を左折して3分ほど錦華通りを進むと右側にある小学校です。さくらの時期にはお花見もできますよ。

小川小学校と西神田小学校と錦華小学校の統合で「お茶の水小学校」になりました。創立は明治6年(1873年)、135年の歴史が刻まれています。先輩も夏目漱石の他画家の千田是也、永井龍男、波多野寛治等々多くの賢人を輩出しています。

靖国通り商店街連合会 一覧

<http://www.yasukunidori.jp/>

